

【申し込み方法】

- ・第Ⅰ部のみ、第Ⅱ部のみでの参加も可能です。
- ・第Ⅰ部(オンラインと来場)、第Ⅱ部(来場)は、それぞれ申し込みが必要です。下記 QR コードよりお申し込みください。

- ①所属機関名
- ②参加者氏名
- ③所属先
- ④メールアドレス
- ⑤電話番号
- ⑥選択講座(第Ⅱ部参加のみ)
- ⑦選択講座(第Ⅱ部参加のみ)

申込締切:7月12日(水)

第Ⅰ部 参加

【問い合わせ先】

石川県リハビリテーションセンター
電話番号:(076)266-2860
メールアドレス:sien@pref.ishikawa.lg.jp
(担当:川原・橘)



オンライン参加



来場参加

第Ⅱ部 参加

【問い合わせ先】

石川県立いしかわ特別支援学校 地域支援室
電話番号:(076)258-1715(直通)
メールアドレス:onaoki@ishikawa-c.ed.jp
(担当:大坂・金井)



来場参加

第Ⅰ部の参加について

①来場参加 ②オンライン参加 (Zoom) [定員 60 拠点] を選択できます。

②オンライン参加について

- ・所属機関内で複数人での視聴をお願いすることがありますのでご了承ください。
また、複数人での参加をご希望の場合は、代表者氏名と参加人数を記載してください。
- ・申し込みが完了したことをメールでお知らせします。定員に達した場合もその旨をメールでお伝えします。
詳細な参加方法や資料は後日メールにてお送りしますので、(sien@pref.ishikawa.lg.jp) を受信可能な状態に設定をお願いします。
- ・一部のキャリアメールではセキュリティの関係上 URL が届かないことや資料が添付されないことがありますので、キャリアメールでの登録はお控えください。

第Ⅱ部の参加について

- ・第Ⅱ部の選択講座①②は、どちらも同じ内容の講座を10講座開講します。各回1講座ずつ、合わせて2講座まで受講できます。
- ・定員のある講座は、先着順とし、定員に達し次第、締め切らせていただきます。定員に達した場合のみ、ご連絡します。

令和5年度 公開講座

会場:石川県立いしかわ特別支援学校

日時 令和5年8月2日(水) 10:00~15:20

対象 石川県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員
幼稚園、保育園(所)、認定こども園、放課後等デイサービスの職員等

日程 9:30 受付

10:00 第Ⅰ部 全体講演会

「教育現場で活かせる、リハビリテーション専門職の見立ての視点」
神奈川県立麻生支援学校 自立活動教諭(専門職)

本間 嗣崇 氏(作業療法士)

12:00 昼食・休憩

13:30 第Ⅱ部 選択講座①(10講座から1講座選択して受講)45分

14:15 移動・休憩

14:35 第Ⅱ部 選択講座②(10講座から1講座選択して受講)45分

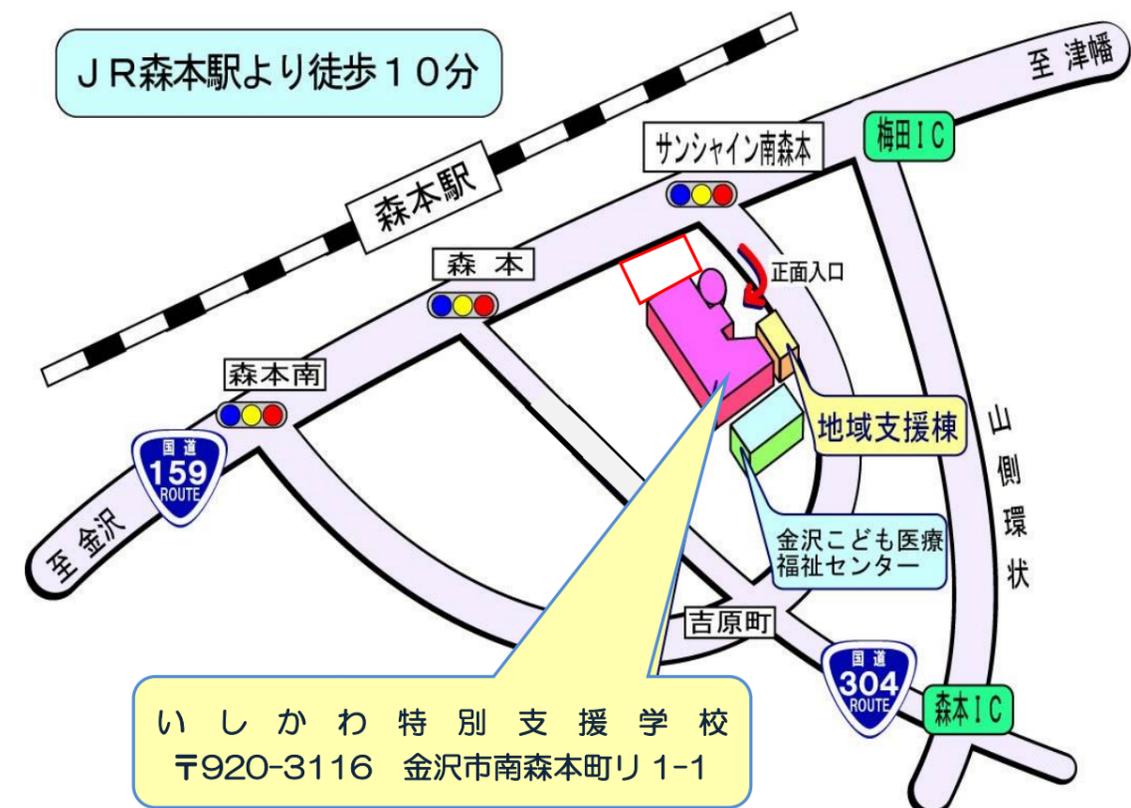
15:20 終了

※昼食と内履きは各自ご持参ください。

主催 石川県立いしかわ特別支援学校・石川県リハビリテーションセンター

会場案内図

※駐車場について 当日の案内・表示に従い駐車して下さい。



第1部 全体講演会

2学期から活かせる!!

教育現場で活かせる、リハビリテーション専門職の見立ての視点

講師：神奈川県立麻生支援学校 自立活動教諭（専門職）

本間 嗣崇 氏（作業療法士）

障害のある子どもたちの学習場を支援するには、子どもたち一人一人の障害特性を把握し、子どもたちが持っている力を的確に伸ばしていくこと、それに伴う必要な環境調整が重要となります。そのためにも教育現場で勤務されている教員とリハビリテーション専門職との連携は子どもたちの発達を支援していくうえで必要だと考えます。

そこで、今回自立活動教諭として特別支援学校で働く作業療法士の本間先生をお招きし、具体例をとおして、学校内での障害特性の理解の仕方、子どもたちの反応や行動の変化を引き出す具体的な対応についてお話しいたします。

講師プロフィール

神奈川県総合リハビリテーション事業団に入職され七沢病院脳血管センターにて勤務したのち、2010年に特別支援学校自立活動教諭特別免許状を取得され、同年神奈川県内の支援学校に自立活動教諭（専門職）として勤務。教育機関で働く作業療法士として活躍されている。

★★★第I部は、来場での参加とオンライン参加を選択できます。詳細は申し込み方法をご覧ください☆☆☆

第II部 選択講座

【選択講座一覧】 ①13:30～ ②14:35～
①②は、どちらも同じ内容です。各1講座ずつ選択できます。

講座1
「発達障害児へのICT活用について」
金沢星稜大学
人間科学部スポーツ学科
教授 新谷洋介

読み、書き、教科学習面の困難さに対する発達障害児へのICT活用について取り上げます。

Chromebook や iPad 等の支援機能の紹介や、教材や支援機器の展示を行い、実際に触れて試して、その子に合った使用方法を考える時間になればと考えています。

（定員：特になし）



講座2
「知っておこう！学齢期と卒業後の福祉サービス」
相談支援事業所「きずな」
相談支援専門員 笠合竜明

近年、学齢期の福祉サービスとしては「放課後等デイサービス」が主流になってきましたが、各事業所によって特色は様々です。また、成人期になると活用できるサービスも学齢期からは一変します。学齢期及び成人期の福祉サービスが現在どのような仕組みや内容になっているのかについてご説明します。今のうちからあらゆる情報を把握しておくことで、将来の進路先や余暇を含めた生活をどう組み立てていくかについて選択肢が明確化していきます。何を基準に考えていけばよいのか、事例を踏まえながら具体的にご紹介します。（定員：特になし）

講座3
「子どもたちの姿勢や動きを見よう」
石川県リハビリテーションセンター

教室で気になる姿勢や動きをする子どもたちの特徴について体験を交えながらお話します。なぜそうなるのかを、一緒に考えてみませんか。

※「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」についても情報提供します。

（定員：特になし）



講座4
「障害がある子の就労支援」
前川哲昭

障害がある児童生徒が学校生活を卒業後、どのように生活していくのか一緒にイメージしてみませんか。

生活面については、本人の希望と保護者の希望をどのようにまとめていくか。就労面については、仕事に対する本人の評価と就労先の評価をどのようにすり合わせていくか。十分な自己理解から生まれる自己決定に向けた指導・支援の在り方について一緒に考えていきましょう。

（定員：特になし）



講座5
「1人1台端末の授業づくり」
松扉大樹

Google アプリケーションの特徴の一つである『共同編集』機能の紹介、体験や演習を通して、1人1台端末を活用した授業づくり、デジタル教材について具体的に考えてみませんか。「やってみたくて、少し苦手だな…」と感じている方も大歓迎です。

※本講座では、こちらで準備したiPadを使って行う予定ですが、Google Chromebookでも運用可能なアプリケーションや機能を主とした内容で実施します。

（定員：1講座10名）



講座6
「指導が困難な生徒を学年組織で支える」
小岩正敏

指導が困難な生徒をクラス担任が一人で抱え込むケースがあります。しかし、抱え込めるキャパシティを越えた場合は担任一人にかかる負担は計り知れません。そこで、学年団を中心にした援助チームを組織し、チームで解決していけるような取り組みを目指しています。この講座では現段階の途中経過や成果を紹介いたします。

（定員：特になし）



講座7
「ミニ観葉植物×ハイドロカルチャー ～テーブルで楽しむ観葉植物の栽培～」
宮本信子

夏の暑い時期、室内で楽しむことができるミニ観葉植物の水栽培です。ハイドロカルチャーとは、土を使わずにボール状の特殊な焼物に植物を植え込むクリーンな栽培方法です。ハイドロは（水）、カルチャーは（栽培）を組み合わせた言葉です。

観葉植物とグラスやカップを選んで、植えてみましょう！生活の中にグリーンを簡単な管理で育てることができます。

（定員：1講座24名）
（参加費：400円）



講座8
「アサーションを体験しよう」
金井祐介

アサーションとは、“さわやかな自己表現”という意味の、相手の主張や状況を尊重しながら自分の主張を伝えるコミュニケーションスキルの1つです。

支援者がアサーションな態度を身に付けることで、対人関係面でつまずきや悩みを抱える子どもたちへのアプローチがしやすくなります。

本講座では、演習を通して、自分自身の自己表現のタイプに気づき、“さわやかな自己表現”の仕方について理解を深めることができます。

（定員：特になし）

講座9
「ユニバーサルフレーム・スパイダーシステム」
自立活動部

スパイダーシステムを用いることで、体の弱い部分をサポートしながら筋肉や関節内にある固有受容器やバランス能力に必要な前庭系・視覚系からの情報を統合する手助けをします。また、動き方を試行錯誤することで、より効率的な運動を選択していく過程を学習できます。当日は体験をします。

（定員：1講座10名）



講座10
「高等学校における通級による指導について」
大坂直樹

平成30年度に、高等学校における通級による指導が制度化されました。石川県においては、羽松高等学校は七尾特別支援学校と、小松北高等学校は小松特別支援学校と、金沢中央高等学校は本校と協力して運営されています。

本講座ではその取り組みを報告し、通級指導教室で使用している教材等を紹介します。

（定員：特になし）

特別支援教育について一緒に学びましょう。

